

中小企業・小規模事業者の支援拡充と地域経済の振興を

沼田民主商工会が沼田市に要請

沼田民主商工会は19日、「地域経済の健全な発展及び住民生活の安定に資することを目的」とした小規模基本法を生かした、小規模企業振興条例の制定と中小企業・小規模事業者への支援の拡充、地域経済振興施策の充実を求め市に要請しました。

小規模企業振興条例の制定について市は、「小規模事業者は地域の経済や雇用を支える重要な存在と認識している」と答えたものの条例の制定については、「県内他市の状況や県の指導も受けながら検討していく必要がある」と答えるにとどまりました。



沼田市消防団第7分団を災害復旧支援表彰

沼田市消防団点検が16日、(仮称)利南運動広場で開かれ機械器具の点検、ラッパ隊の点検や部隊訓練、ポンプ操法訓練などがおこなわれました。



表彰式では、9月におこった利根町柿平での土砂災害で復旧作業にあたった消防団第7分団が、災害復旧支援表彰を受けました。

第7分団は、2日間にわたり延べ約140人が被害家屋内の土砂撤去などをおこない、復旧作業で重要な役割を果たしました。

健康チェックやステージ発表 第34回くらしと健康まつり

第34回くらしと健康まつりが16日、十王公園で開かれ、健康チェックや三味線演奏、フラダンスなどのステージ発表がおこなわれました。

各団体による模擬店や農産物販売のテントでは、多くの人が買い物を楽しみました。



上原町で第12回ふれあい作品展

上原町区民館で15日、16日の2日間、「第12回上原町ふれあい作品展」が開かれました。



作品展には町内の人たちの絵画、書、盆栽、手芸、写真など多数の作品が展示されました。



続ぐらゐ散歩 めまた道 薄根地区あれこれ 特別編その二十七

正行院

宇楚井町の正行院は、応永13年(1406)に赤谷から信者たちによって、三峰山麓に移され、安永年間(1772~81)に現在の場所に移されました。

真田幸隆(真田信之の祖父)が河内神社を参拝した帰りに正行院に立ち寄り寺の荒廃を見て寺を再建したことから、中興の開基とされ、寺には真田幸隆の位牌が残されています。



正行院には、関ヶ原の戦いに敗れた石田三成が逃れてきて、二十二世の住職になったとの言い伝えが残っています。

本堂入り口階段の両脇には、嘉永4年(1851)と彫られた閻魔大王と奪依婆(写真上)があり、庭には「沼田の名木百選」に選ばれた、樹高12mの「モクゲンジ」(写真左)もあります。



安倍首相は、自民党の選挙公約や衆参両院の国会決議への違反が大きな問題になっているのにそれさえもな説明もないまま、農業などへの影響を過小評価したため「試算」で押し通すのは許されません。

TPPは、日本がアメリカなど11カ国との間で関税を原則的に撤廃し、サービスや投資も自由化を約束し、農業や中小企業だけでなく医療や保険、雇用や「食の安全」などに大きな影響を及ぼし、国のあり方を変え、多国籍企業が進出先の国の制度が気に入らなければ裁判に訴えることができるISDS条項など、国の主権にとっても危険な協定です。

こんにちは 大東のぶゆき です

PEACE SOUL

あなたの大切な人戦場に送り出してもいいんでしょうか
安保法に反対する集会 29日(土) 午後3時から 東原新町土木事務所跡地駐車場
主催: 安保関連法廃止をめざすGUNMA若者緊急行動

2016年10月23日

NO. 500

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料